

## 2014(平成26)年度 新入社員意識調査アンケート結果【大阪版】

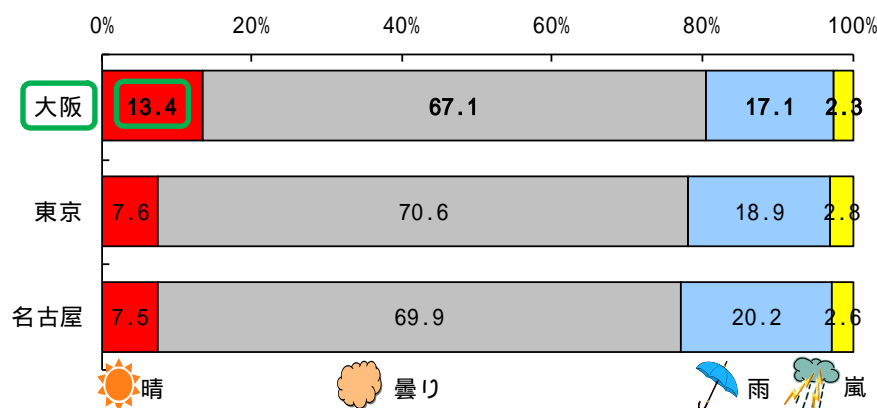
### - 景気回復を期待する大阪の新入社員 -

#### 景気回復への期待が高い大阪の新入社員

東京や名古屋と比べて元気がないと言われている関西経済だが、足元では消費税率引き上げの影響が懸念されるものの、景気は緩やかに持ち直している。とくに、個人消費は大型商業施設が次々と開業されたこともあって、底堅く推移してきた。こうした環境の中、東京や名古屋と比べ、大阪地区の新入社員は景気に対して比較的明るい見方をしている。

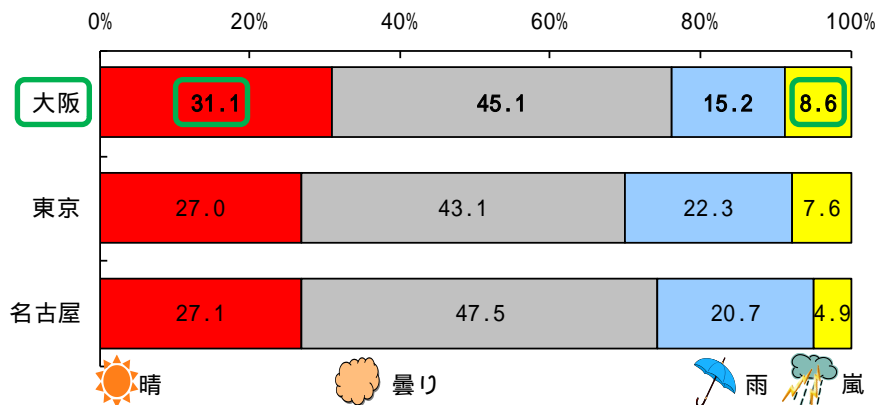
今の日本の状態をどう思うかを天気(晴、曇り、雨、嵐)で表わしてもらった。すると、回答割合が最も高かったのは「曇り」となり他の地域と同じだが、「晴」と答えた人の割合が13.4%と、東京(7.6%)や名古屋(7.5%)と比べて高かった。一方、「雨」や「嵐」という回答割合は、大阪では低くなっている。

図表1. 今の日本の状態を天気で表すと?



また、10年後の日本についても、大阪の新入社員の見通しは明るい。「晴」れると見込む新入社員は3割を超えた一方、「雨」は約15%にとどまった。本編でみたように、大阪の新入社員は東京オリンピック開催への期待も高く、将来に対して楽観的な考えを持つ人が多いようだ。もっとも、「嵐」と答えた人の割合は、現状判断と比べて上昇しているうえ、他の地域よりも水準が高く、極端な見方をする新入社員も多い。

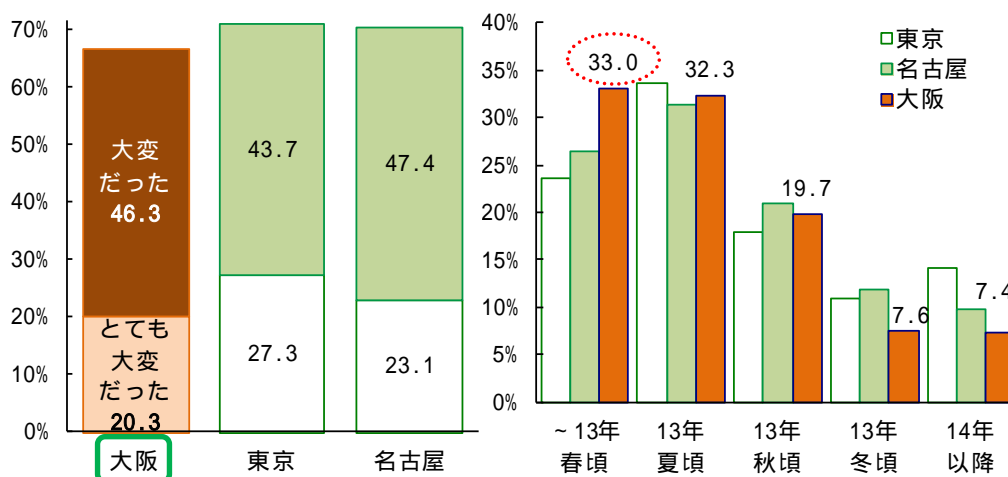
図表 2 . 10年後の日本の状態を天気で表すと？



また、景気の持ち直しを背景に、今年度の新入社員の就職活動を取り巻く環境は、関西でも改善していた。就職活動の感想を聞いたところ「大変だった」もしくは「とても大変だった」と答える人が大半を占めたが、「とても大変だった」という回答割合は東京や名古屋と比べて低かった。決して就職活動が楽だったわけではないが、まだ恵まれた方だったといえるだろう。

実際、最初に内定が出た時期は他の地域と比べて全体的に早い。およそ3人に1人が2013年春頃までに内定を得ている。前年度の新入社員では、2012年春頃までに最初の内定をもらった人の割合は21.4%だったことと比べると、今年度は比較的スムーズに内定が出た人が多かったとみられる。

図表 3 . 就職活動の感想と最初に内定が出た時期



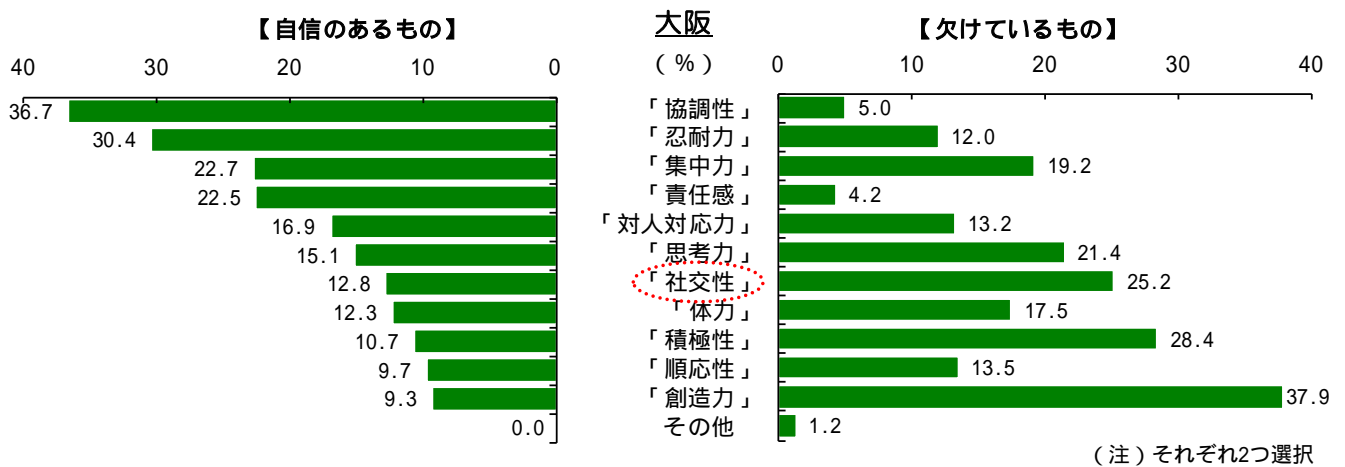
### 関西男性は意外と非社交的？

“関西人”というと、明るく陽気で“社交的”というイメージを持つ人が多いかもしれない。しかし、大阪の新入社員本人たち、とくに男性は自らの「社交性」にあまり自信がないようだ。社会人としての自分に自信があるものについて質問したところ、「協調性」という回答が最も多く、次いで「忍耐力」となった。これは、すべての地域で同じ結果である。一方、「社交性」に自信があると答えたのは1割強にとどまったうえ、4人に1人は自信が欠けているものとして挙げた。

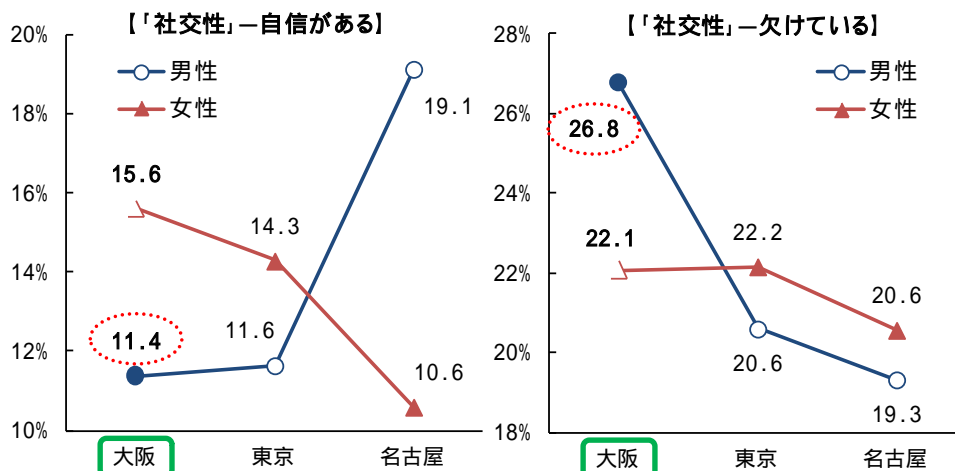
男性に限ってみると、社交性に自信があると答えた人の割合は11.4%と、東京と並んで水準は低い。また、大阪の女性の15.6%を下回っている。さらに、社交性が欠けていると答えた大阪の男性は26.8%にのぼり、他の地域の男性と比べて水準が高い。

もっとも、関西では明るく陽気で“社交的”であることが当然であり、それだけに「社交性」のハードルが高く、自信を持つことが難しく、自分に欠けていると感じやすいのかもしれない。

図表4. 社会人としての自分に自信のあるもの・欠けているもの



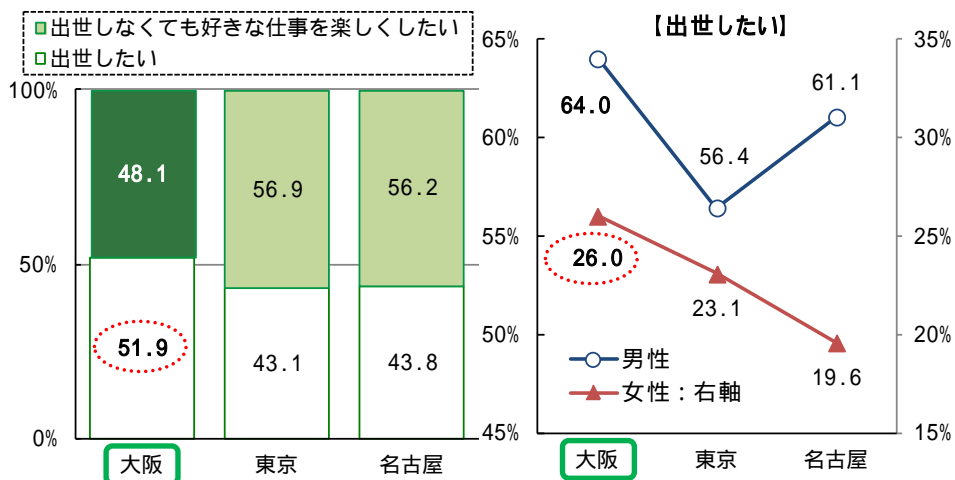
図表5. 社会人としての自分に自信のあるもの・欠けているもの 「社交性」



“バリキャリ”志向が強い関西女性

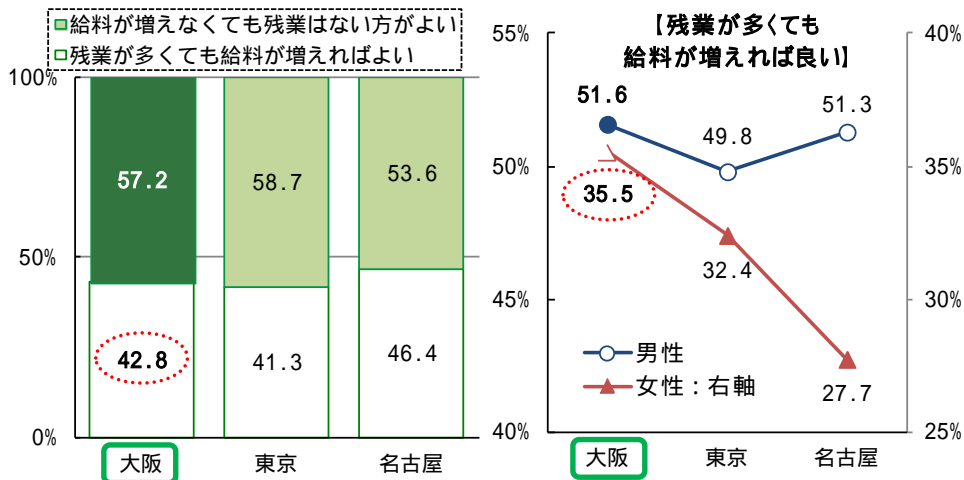
一方、関西女性の特徴として挙げられるのが出世や給与に対する意欲の高さである。大阪では、3地域で唯一、「出世したい」が「出世しなくても好きな仕事を楽しくしたい」を上回っている。本編において、今年度の女性は就労に対する意欲が低いと述べた。大阪の女性でも、前年度(31.4%)よりは「出世したい」の回答割合が低下し26.0%となったが、東京や名古屋と比べると水準は高い。

図表6. 出世意欲



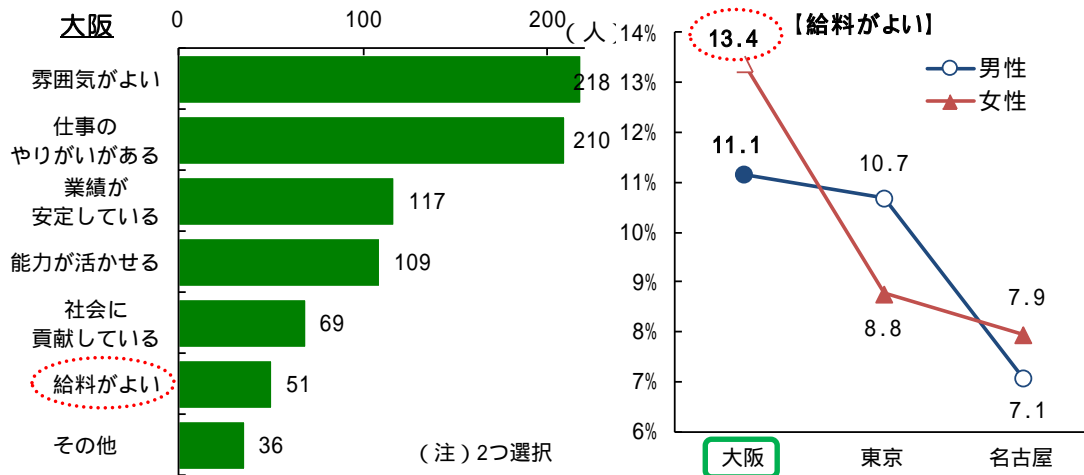
また、「残業が多くても給料が増えるのだからよい」、「給料が増えなくても残業はないほうがよい」のどちらの考えに近いかについては、大阪全体では前者の割合は42.8%と、東京や名古屋と比べてとくに水準が高いわけではない。しかし、女性では、「残業が多くても給料が増えるのだからよい」が35.5%と他の地域と比べて高くなっている。

図表7. 給料と残業に対する考え方



また、就職活動の際、何を基準に会社を選んだかという質問に対しても、大阪の女性は13.4%が「給料がよい」という選択肢を選んでいる。関西女性は他の地域の女性と比べて出世や給料を重視しており、バリバリ働くキャリアウーマン、いわゆる“バリキャリ”志向が強いようだ。

図表 8 . 就職活動の際、会社を選んだ基準



三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社  
 調査部 研究員 尾畠末輝  
 〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2  
 TEL:03-6733-1070

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ & コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。